

件名	人口減少対策について
意見内容	大船渡の未来を考えると、いかに若年層を地元に留めるかが重要だと考えている。人口流入と併せて、早いうちに手を打って欲しい。
回答	人口減少及び少子高齢化は、働き手や担い手不足による経済活動の縮小、地域コミュニティの維持など、幅広い分野に大きな影響を与えるものと認識しております。 そのような中、当市におきましては、進学などにより気仙管内の高校生の約9割が管外へ流出している状況にあり、地域産業を支える若者の確保は喫緊の課題となっております。 こうしたことから、当市では、市独自の制度として、新規高等学校卒業者の地元就職の促進と職場への定着化、U・I・Jターンを促進するため、市内事業所に就職した新規学卒者や、奨学金を返還する方などへの支援を実施しております。 また、移住・定住施策として、移住コーディネーターを2名配置し、移住希望者の相談への対応のほか、パンフレット、ホームページ、SNS等を活用して、積極的に情報発信を行っているところであります。 さらに、首都圏などで開催される移住イベントへの出展、移住者同士のつながりを創出し、移住者の定住につなげるための移住者交流会といったイベントの開催のほか、今年度の新たな取組として、移住を検討している方が、短期間、当市での生活を体験できる移住体験住宅の整備や、移住体験ツアーの開催を予定しており、これらの取組を通じて移住・定住を促進していきたいと考えております。 一方で、国全体で人口減少が進行している状況において、人口規模に見合った行政経営への転換がますます重要となりますことから、今後は、このような雇用の維持や移住・定住に係る事務事業の成果や効果などを検証しながら、一層投資効果を高められるよう取り組んでまいりたいと考えております。
所管課	企画政策部企画調整課
回答日	令和6年6月27日